

鳥取県 高校入試情報

令和7年度鳥取県入試の全体傾向

●入試問題の構成と特色

- 大問数は5問。小問数は37問で、例年通り、問題数が多い。
- 問題1は計算と各領域の小問集合で、作図、操作をもとに考える確率などが出題された。問題2は箱ひげ図で、データを読みとる問題（会話文あり）、問題3も会話文で方程式の利用が出題された。
- 問題4は関数と図形（穴うめ式の証明）、問題5も会話文で、三平方の定理を含む平面図形の問題が出題された。
- 細かい場面設定のある問題が多く、与えられた資料を正確に読みとったり、変化のしかたを正しく場合分けして考えたりすることが求められる。

★鳥取県の入試は、『数学の新研究』でバッチリ！

■ 作図問題の出題

・作図の問題が例年出題されており、いろいろなパターンの問題があるので、対策が必要である。

新研究で対策！

●「ウォームアップ特集 作図」(p. 32～33)、「基本を使おう！いろいろな作図」(p. 170～171)で、基本となる作図から、よく問われる定番問題まで、作図のポイントを分かりやすく解説しています。

■ 実生活への活用力をみる問題の出題

・身近な題材について、方程式・関数・図形などの知識を使って考える問題がよく出題されているので、数学的に考える力を養っておく必要がある。

新研究で対策！

●「思考力・判断力・表現力を問う活用問題」(p. 188～191)で、表やグラフなどを読みとり、数学で学習したことを実生活に活用して考える問題を集めています。

文章が長く、設定が複雑な問題が多いので、焦らず丁寧に問題文を読むようにしましょう。



★鳥取県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向	単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	1年内容				
	正の数・負の数	●	●	●	●
	文字と式	●	●	●	●
	方程式	●		●	●
	比例と反比例			●	●
	平面図形	●	●	●	●
	空間図形	●	●	●	●
	データの分析と活用	●	●	●	
	2年内容				
	式の計算	●	●	●	●
	連立方程式	●	●	●	●
	1次関数	●	●	●	●
	図形の調べ方	●	●	●	●
	三角形			●	
	平行四辺形	●	●	●	●
	確率	●	●	●	●
	データの比較と箱ひげ図	●	●	●	●
	3年内容				
	式の計算	●	●	●	●
	平方根	●	●	●	●
	2次方程式	●	●	●	●
	関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
	相似な図形	●	●	●	
	円の性質	●	●	●	●
	三平方の定理	●	●	●	●
	標本調査	●		●	
出題形式別の傾向	大問数	5	5	5	5
	小問数	36	36	36	37
	記述問題	図形の証明(説明)			
		その他の説明・証明など	2	2	
		立式・解法の過程の記述			
		作図(図形)	1	1	1
	作図(グラフ)				

★新研究で出題した鳥取県の入試問題(令和7年度)

p.19大問1,p.127大問1(2),p.171大問5